



<今号のクリニカルアート>

「めでたい風の羽子板」

左 田中 榮美子 さん (大坂)
右 小谷 勢津子 さん (溝口)



伯耆町議会

検索

おもな内容

- 一般会計補正予算 (3号・4号) 2~3ページ
- 全員協議会 陳情 4~5ページ
- 委員会トピックス 6~8ページ
- 特集「数字で見る伯耆町」 9ページ
- 一般質問 10~19ページ
- 議会の虫めがね 表紙みどころ 20ページ

暮らしを支える緊急支援

12月 定例会

一般会計補正予算(第3・4号) 原案可決

補正前 84億6,800万円 補正額 1億2,300万円 補正後 85億9,100万円

主な歳出 (このような事業に)

ガソリン等購入助成券配布
(1世帯当たり2万円)



8,302万円

物価高対応子育て応援手当支給
(児童1人当たり2万円)



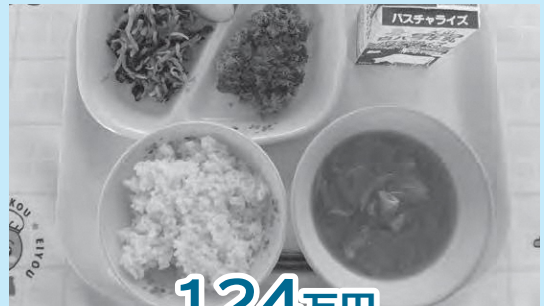
3,025万円

八郷小学校教室整備
(特別支援教室移動に伴う改修)



617万円

学校給食費補助
(1食当たり補助270円に)



124万円

主な歳入 (財源は)

○国庫支出金 8,525万円
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金ほか

○県支出金 1,552万円
機構集積協力金交付事業費補助金ほか

○諸収入 863万円
後期高齢者医療広域連合負担金精算金ほか

○町債 1,360万円
水道事業債ほか

ガソリン・子育て・給食費など

議員がどう判断したか ～令和7年12月定例会



件名	議員名（議席番号順）												
	埴田 信二	其山 守美	杉田 真也	大床 桂介	上田 博文	森下 克彦	長谷川 満	杉本 大介	乾 裕	渡部 勇	大森 英一	永井 欣也	勝部 俊徳
伯耆町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伯耆町固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伯耆町特別医療費助成条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伯耆町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伯耆町督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伯耆町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伯耆町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伯耆町公の施設に係る指定管理者の指定について （伯耆町産地形成促進施設）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伯耆町公の施設に係る指定管理者の指定について （榑水高原リフト及び榑水フィールドステーション）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度伯耆町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度伯耆町地域交通特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度伯耆町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度伯耆町水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度伯耆町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度伯耆町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（○…賛成、×…反対）※勝部議長は採決に加わりません

●固定資産評価審査委員会委員の選任

氏名	住所	期数	任期（3年）
遠藤 範文 氏	吉定	3	令和8年2月18日から 令和11年2月17日まで
田中 厚之 氏	溝口	3	
田村 茂樹 氏	溝口	新	

●教育委員会委員の任命

氏名	住所	期数	任期（4年）
濱田 真代 氏	溝口	3	令和8年2月18日から 令和12年2月17日まで

役場の機構改革を予定

令和8年度 新たに3室を設置

- **移住定住推進室（仮称）**
移住・定住及び空き家対策を一体的に推進
企画課内に設置予定
- **子育て支援室（仮称）**
こども家庭センターの機能を有し
総合的な子育て支援を推進
福祉課内に設置予定
- **高齢者支援室（仮称）**
介護や高齢者福祉など、
高齢者に対する施策を推進
健康対策課内に設置予定



指定管理者の選定

● 大山ガーデンプレイス

【指定管理者】

伯耆町地域振興株式会社

【指定期間】

令和8年4月1日から3年間



大山ガーデンプレイス

● 柘水高原リフト及び 柘水フィールドステーション

【指定管理者】

エムケイ開発株式会社

【指定期間】

令和8年4月1日から3年間



柘水高原リフト

令和7年12月1日及び15日に行われた
全員協議会において、町執行部から説明
を受けて協議を行いました。その一部を
紹介します。



ガソリン等購入助成券の配布 第7回

原油価格や物価高騰の影響を受けている家計を支援するため、ガソリン等の購入の際に使用できる助成券を配布します。

対 象 者	令和8年1月1日時点で、伯耆町の住民基本台帳に記録されている方がいらっしゃる世帯の世帯主
助 成 額	1世帯につき2万円 (1,000円×20枚)
配布方法	世帯主へ郵送
対象商品等	ガソリン・軽油・灯油の購入、タクシー利用
利用可能店	町内の取扱店 (ガソリン等小売店、タクシー事業者)
利用期限	令和8年11月30日



12月定例会みなさんからの請願・陳情はこうなりました

請願・陳情に対する各議員の賛否 (令和7年12月定例会)

件 名	結 果	議員名 (議席番号順)																
		塔田 信二	其山 守美	杉田 真也	大床 桂介	上田 博文	森下 克彦	長谷川 満	杉本 大介	乾 裕	渡部 勇	大森 英一	永井 欣也	勝部 俊徳				
「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情書	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情書	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本風力エネルギー株式会社の風力発電事業に関する陳情について	趣旨採択	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鳥取西部風力発電建設に関する陳情について	趣旨採択	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鳥取西部風力発電事業計画の許認可に対し立地自治体の同意を要件とするよう関連する国の法改正を求める要望書	趣旨採択	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
風力発電の建設推進について行政の法令等に基づく適切な対応を求める陳情	趣旨採択	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(○…賛成、×…反対) ※勝部議長は採決に加わりません

防災に強い町に向けて

『総務経済常任委員会』視察レポート

調査委員 森下克彦 杉田真也 永井欣也 渡部 勇 長谷川満 上田博文 埜田信二



DXによる受付で時間短縮



3Dシアターで地震の模擬体験



防災センターでの模擬消火体験

岐阜県大垣市

「防災DX」への取り組み

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により避難所運営に課題が生じたことをきっかけに、3つの「防災DX」を導入した。
 - 1・避難所支援受付システム
 - 2・スマホ防災学習アプリ
 - 3・防災備蓄管理システム

石川県小松市

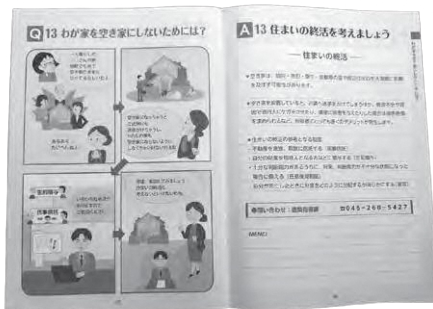
危機管理課を核とした自主防災組織

- ・危機管理課に2名の消防経験者を配置した。
- ・地域コミュニティを大切にし、実践的な防災活動の展開。
- ・9割以上の町内会で自主防災組織が結成されている。

町民主体の町を目指して

『文教民生常任委員会』視察レポート

調査委員 乾 裕 其山守美 勝部俊徳 杉本大介 大床桂介



大和市発行の冊子



子どもの朝の居場所づくり

神奈川県大和市

おひとりさま支援条例

- ・高齢者が生涯にわたり生き生きと過ごすことができる支援策。
- ・市民「おひとりさま」を尊重した行政の姿勢が住民に評価されている。

東京都調布市

「みまモーニング」事業の展開

- ・「朝の小1の壁」保護者の出勤時間と小学校の開門時間にずれが生じる場合、学校始業前まで、図書室や体育館で見守り員が児童の見守りを行う。

今後の文化施設や学校の在り方は！

『地域課題調査特別委員会』

- 植田正治写真美術館の在り方について
設置の経緯や現状、契約・権利関係上の課題、また今後の財政状況などをテーマに自由討議。



開館20年となる植田正治写真美術館

- 町内学校の在り方について
児童生徒数の今後の推移、将来予測などを含め、少子化による減少の傾向を踏まえ学校統合や義務教育学校などを選択肢に、中長期的な検討をしていく。

議会ルール作りを議論！

『議会改革調査特別委員会』

- 陳情の取り扱い基準の整備
- 委員会の傍聴に関する規則整備
- 議会答弁の対応状況（フォローアップ）に関する要綱・仕組み

議会の活発化に 資する様々な協議



放課後児童クラブの課題に切り込む

『文教民生常任委員会』

- 職員が高齢化し、募集しても応募が少なく職員確保に苦慮
放課後児童クラブは、放課後や長期休業中の昼間、家庭の都合で適切な保育が受けられない小学生に対し、適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図ることを目的に実施。利用ニーズは非常に高いが、安定的な運営を行うための体制確保が喫緊の課題。



空き家問題解決への道

『総務経済常任委員会』

- 町内の空き家、特定空き家対策の現況確認
5年ごとに行う「伯耆町空き家等対策計画」の策定を前に、空き家数、所有者不明物件の把握などを行った。また、「空き家等の適正管理の推進に係る連携協定」で業務提携をした株式会社クラッソーネの取り組み、さらに次年度に取り組む予定の「空き家バンク」の検討状況をもとに、将来的な利活用について協議。



町政に関する 議会要望

予算決算等常任委員会で審議し、議会全員一致となった件を町に要望しました。



犯罪被害者に 救いの手を!!

要望

- ①2004年に犯罪被害者等基本法が制定された。
- ②同法第5条で、地方公共団体は、地域に応じた施策を策定。
- ③犯罪被害者への具体的な支援を行うためには、その法的根拠となる条例の制定が必要である。

回答

犯罪被害者支援にあたっては、市町村により支援の差が生じないように、鳥取県・市町村が一体となった支援が必要と考える。そのため、県及び各市町村の動向に注視し、条例制定も含め町ができることについて検討する。



八郷小学校 洋式トイレ増やして!

要望

八郷小学校の児童用の女子トイレは、4つのうち1つしか洋式トイレがない。昨今、和式トイレを使わない児童が増えており、休憩時には洋式トイレが非常に混み合う。他校と同程度の洋式トイレの整備を検討されたい。なお、今後も時代に即し、計画的に洋式化の検討を行われたい。

回答

利用状況を確認し、計画的に必要な数の洋式化を行う。



集落への補助 引き上げせないけんぞ!!

要望

- ①各集落等の施行する建設的な補助事業について、現行の補助率の大幅な引上げを求めたい。
- ②本町の20年後を見据えた生産、生活基盤の早急な充足を図る必要がある。
- ③先々では、補助事業をする人的資源や金銭的資源が、枯渇する可能性がある。
- ④地元負担を軽減し、早期の投資を促す。

回答

地域活動の省力化など、地域・集落の持続性の向上に繋がる町単独事業の補助金の見直しを行う。



災害時のドローンの映像 リアルタイム化を!!

要望

災害発生時の初動対応の迅速化や避難誘導の適切化、関係機関との情報共有の強化を図るため、災害対策本部にリアルタイムで映像を転送する仕組みを検討されたい。

回答

災害時に情報収集を迅速に行える仕組みを検討する。



どうなる!? 今後の日光公民館

要望

2015年に日光地区協議会で、空き教室の利活用の検討が行われ、1階部分については、日光公民館として活用されることとなった。しかし、現在も教室等は未活用のままであり、貴重な公共資産が十分に活かされていない。改めて、町が主体となって、日光地区協議会ともよく協議のうえ、地域ニーズを踏まえた活用方策を検討されたい。

回答

庁内プロジェクトチームを設置し、日光公民館の利活用について検討を進める。

特集

数字で見る伯耆町

水道料金を西部市町村で比較！

伯耆町の水道料金を、鳥取県西部市町村と比較しました。その結果、家計にやさしい水道料金であることが数字で明らかになりました。



自治体名	給水人口 R5末 (人)	基本料金		使用水量別料金表 (円)	
		基本水量	(円)	20m ³	40m ³
伯耆町	9,621	8m ³ まで	800	2,000	4,000
米子市 (境港市、日吉津村)	179,128	8m ³ まで	820	2,032	4,692
南部町	10,187	6m ³ まで	900	2,538	5,028
江府町	2,508	10m ³ まで	900	1,850	3,750
日野町	2,074	10m ³ まで	1,200	2,400	4,800
日南町 ※別途メーター使用料あり	2,945	10m ³ まで	1,680	2,826	5,118
大山町	13,280	8m ³ まで	896	2,840	6,080

- ・水道料金は1か月分あたりに換算したもの
- ・消費税別、令和6年度末の一般用での価格
- ・基本料金は、基本水量以内の価格
- ・基本料金と1か月あたりの水道使用量20m³と40m³で比較
- ・米子市、南部町、江府町、日野町は多く使うと単価が高くなる段階的な料金体系



ポイント

- ★まず、基本料金は西部市町村の中で最も低い水準となっています。
- ★さらに、水道の使用量別料金を見ても、江府町に次いで低い水準となっています。
- ★少人数世帯から使用量の多い家庭まで、幅広い世帯で負担が軽くなる料金体系です。

このように伯耆町の水道料金は、基本料金が安く、使っても高くなりにくいことが特徴です。家計に大きなメリットですね。

町民の声



伯耆町の水道料金が低く抑えられていると聞きました。物価高騰のおり、助かります。今後も現在の価格を維持していただくと喜ばます。

清水 和枝さん (押口)

これからの伯耆町 どうなる？

まちの課題や疑問に議員が迫ります！

一般質問とは、議員が町長・教育長等に対し、町の仕事全般や教育などについてその取り組みや将来の方針について問い、その趣旨を明らかにします。また新たな政策の提言をします。

12月定例会では13人中9人が一般質問を行いました

今回こんなことを聞いています

【実施日】令和7年12月5日(金)

大床 桂介 議員

・福祉施策の今後について

長谷川 満 議員

・新内閣による町行政への影響と、ビジョンは
・「お酒のまち 伯耆町」のPR施策は

永井 欣也 議員

・水道事業並びに地下水の保全について
・図書館のさらなる利用促進について

渡部 勇 議員

・町行政のトップリーダーとして町長の決断とは
・第2次伯耆町教育振興基本計画
(令和3年度～令和12年度)について

杉本 大介 議員

・人口減少を受け入れスマートシュリンク
(賢く縮む)へ
・防犯カメラ設置の積極的検討を

其山 守美 議員

・空き家の有効活用に向けた検討状況は
・学校教育施設の除草や除雪作業に公費を
・高校生サークルの計画的な育成を

森下 克彦 議員

・教育費の負担軽減について
・気候危機対策について
・多文化共生社会の確立について

乾 裕 議員

・クマ対策について

埴田 信二 議員

・投票立会人の負担軽減に向けた取組を
・ちびっこ広場に屋根付き休憩所の設置を

一般質問のルール

●質問は事前に通告 ●持ち時間は1人60分 ●町行政、教育に関係あるもの

実際のやりとりは動画で見られます —町長・教育長等の答弁をそのまま配信—
一般質問の様子はYoutubeで配信しています。二次元バーコードはこちら！



重層的支援体制整備事業の導入を

町長 現状で問題はない



おおどこ けいすけ 議員
大床 桂介



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 少子高齢化や人口減少、地域コミュニティの希薄化といった社会構造の変化により、ひきこもり、8050問題、ダブルケア、ヤングケアラーなど、複数の課題が絡み合う複雑な問題が顕在化している。こうした複雑な課題を抱える方々に対し、町として十分な課題解決の取り組みができていないと考えるか、町長の見解を伺う。

答 町長 高齢者については健康対策課、子ども・障がい・生活困窮については福祉課がそれぞれ対応している。複数の課題を抱える世帯については、社会福祉協議会など関係機関と連携しながら支援に取り組んでおり、現状の体制で対応できていると考えている。

問 複雑な課題を抱える世帯に対し、どのような流れで課題解決を図っているのか、現状を伺う。

答 福祉課長 複数の支援機関が連携し、主となる機関が関係者会議を開催して課題の共有や支援方針、役割分担を確認したうえで支援を行っている。

問 アウトリーチ支援について、具体的な取り組みはどのようなものか。

答 福祉課長 支援機関のネットワークを活用しているほか、住民や民生委員からの情報をもとに、行政として必要と判断した場合は、より詳しい状況把握のため家庭訪問を行い、本人や家族と接触している。

問 重層的支援体制整備事業における支援会議や重層的支援会議に相当する会議は行われているのか。

答 福祉課長 役場内各課の相談窓口、社会福祉協議会、障がい者相談支援機関の担当者による「伯耆町相談機関ネットワーク会議」を開催し、情報交換を行っている。また、介護保険法に基づく地域ケア会議や、児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会がある。さらに、生活困窮者自立支援法に基づく支援会議を新たに設置する予定である。

問 鳥取県西部圏域で、重層的支援体制整備事業を実施または準備している自治体はどこか。

答 福祉課長 米子市、江府町、日吉津村、南部町、大山町が事業を実施しており、日野町が準備段階である。



問 関連する福祉事業の交付金を柔軟に活用できる重層的支援体制整備事業を導入し、体制整備に取り組む考えはないか。

答 町長 交付額の減額があり、小規模自治体にとつては非効率で負担が大きいと考えている。現段階では包括的な支援体制が整っていると認識しており、導入は考えていない。

新内閣の影響と 第4次総合計画の展望は

町長 重点支援地方交付金など
最大限に活用



はせがわ みつる 議員
長谷川 満



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 初の女性総理誕生など変化
する国政への感想と、本町
への影響は。

答 町長 新たな視点での行政
運営や積極財政に期待して
いる。国が示す物価高騰対策等
の「重点支援地方交付金」を最
大限に活用し、スピード感を持
って町民の生活支援に繋がる施
策を迅速に執行していきたい。



責任ある積極財政

問 第4次総合計画の原案提示
時期であるが、国の動向と
のリンクや独自の新規課題は。

答 町長 国の「地方創生2.0」
と連動しつつ、防災や教育、
DX、物価高騰対応を重点化す
る。またEBPM（データに基
づく政策立案）の観点から地域
別の数字を分析し、特に人口減
少が著しいエリアには、実態に
即した実効性の高い独自の施策
を構築したい。

問 展望に向けた次期予算編成
や機構改革の重点ポイント
は。

答 町長 限られた財源で住民
サービスを維持・向上させ
ることが鍵となる。移住定住の
促進や子育て世代への総合的支
援を強化するため、これら重点
施策を迅速かつ着実に具現化で
きるよう、機動的な執行体制へ
の機構改革を検討している。

「お酒のまち・伯耆町」
のPRと産業振興

問 地域資源の振興や
ブランド力向上のため、

「乾杯条例」を制定できないか。
答 町長 産業振興への寄与と
いう考えには非常に共感す
る。条例制定が一過性のブーム
に終わらぬよう、まずは町内
で酒を楽しむ環境の整備や、
効果的なPR手法の検討を優先
し、官民連携での機運醸成を
図りたい。



お酒のまちで乾杯

問 農泊やお酒イベント、宿泊
連携、ふるさと納税セット
開発を主導できないか。

答 町長 ふるさと納税サイト
を4つに拡充し、販路を広
げる。また異業種連携の「伯耆
まちキラキラ会議」を通じ、地
酒と農産物のセット開発へのマ
ツチングを促し、推進してい
く。事業者の収益向上を図りなが
ら、町の魅力を強力に発信してい
く。



伯耆町産
日本酒、地ビール、ワイン、どぶろく

地下水保全審議会で 保全のあり方も検討を

町長

地下水は本町の豊かな自然の象徴
慎重に考えていく



ながい きんや 議員
永井 欣也



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 水道事業では資金繰りが厳しいこと、一般会計からの繰入に依存傾向であることが指摘されている。

管路更新、水源確保、収支構造改善の取り組みを伺う。

答 町長 令和6年度は81mの老朽管を更新。真野配水池は今年度完成予定。累積欠損金は解消の見込みが立った。将来



大山の恵み 地蔵滝の湧水

を見据え、適正な料金水準の議論、研究をする必要がある。

問 収支構造改善の検討をどのように考えているか。

答 町長 人口減少で給水量も減る中で管路は長い。条件不利地で減価償却もある。今後、現金の資本がマイナスになる可能性も。より良い方法で会計が維持できるように順次検討したい。

問 本町には地下水保全条例が制定され、乱開発の防止、地下水源の保護を図っている。適用を受ける採水者数、量は。

答 地域整備課長 令和6年実績で7件、45万8000m³で、ほぼ日野川右岸、大山エリアでの採取。

問 本条例に地下水保全審議会
の設置が規定されている。
審議内容は。

を

答 地域整備課長 ポンプからの吐出口の断面積が6cm²超はすべて許可が必要。その許可申請の可否判断を審議。

問 地下水の保全のあり方とも審議に加えられないか。

答 町長 清浄で廉価低廉な水の供給について、今後、慎重に考えていく必要がある。

町立図書館のさらなる利用促進を図りたい

問 溝口・岸本両図書館ともここ3年、貸出冊数が減少。図書購入でも減冊傾向が続いている。要因は。

答 教育長 人口減少が図書館利用者減に繋がっており、他町村に新たにオープンした図書館を利用するとの声もある。

図書購入予算は近年変わらな
いが、書籍単価が上がった。

問 他の自治体の新しい図書館の魅力をどう受け止めるか。また、図書購入費は豊かなふるさと創造基金からの繰入で、配分を柔軟にできるのではないか。



溝口図書館

答 教育長 単なる図書館ではなく、複合施設となつている。図書購入予算は財政当局と協議、検討したい。

問 さらなる広報の充実、関連部署との連携を深め、利用促進を図るべき。

答 教育長 小中学校と連携した団体貸出し、出前図書館、健康まちづくりポイントでの取り組み。スピード感のある情報発信で利用促進につなげたい。

町行政のトップリーダー として町長の決断は

町長 来年度予算で示す



わたなべ いさむ 渡部 勇 議員



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 まち未来ミーティングなどを開催され多くの町民の声を聞かれた。来年度予算編成に影響・反映するか。

答 町長 人口減少の抑制策及び子育て支援策など、総合的に取り組みたい。

問 町長が考える「4つの投資」とあるが、重点施策は。

答 町長 人づくりが町づくりにつながると思う。その中の一つとして、役場職員がエンジンとして地域をけん引していきたい。



まち∞未来ミーティングの様子

問 町行政の機構改革の目的は。

答 町長 住民サービス・行政サービスをしっかりと守る。

また、職員の負担・軽減などを図り、専門職を効果的に配置し、組織が機動的に動くこと。

問 各課業務分担の見直し・改善する取り組みは。

答 町長 役場職員の声を受け止めて、住民サービスをしっかりと守る。詳しくは全員協議会で説明したい。



本庁舎の執務室

第2次伯耆町教育振興基本計画の学校教育について



伯耆町教育振興基本計画

問 後期5年間について、見直し、点検し、そして、付け加えることがあるか。

答 教育長 当初の予定を少し遅らせることを検討している。第4次総合計画との整合性をとるため。

問 次期学習指導要領にある「柔軟な教育課程」とは何か。

答 教育長 各教科の授業時数を変えることが出来る。
問 総授業時数を確保し、標準時数を柔軟にするとある。この単位時数はどの位の時数か。
答 教育長 具体的な授業数はまだ決定していない。
問 これによる教師の負担・影響は。また、子ども達への影響は。
答 教育長 教師への負担増となる。子ども達は、基礎・基本が定着できるか懸念する。



授業のイメージ

人口減少を受け入れ 「スマートシユリンク」へ

町長 持続可能な町政運営を
推進する

問 「人口減少に歯止めをかける」施策だけでは持続可能性が危ぶまれる。人口減少を前提とした「適応策」や「スマートシユリンク」をどう行政運営に反映させるか。

答 町長 「地方創生2.0」に基づき、人口規模が縮小しても社会を機能させる適応策を講じる。

インフラや公共サービスの移行を課題と捉え、持続可能な町政運営を推進する。

問 公共施設やインフラの老朽化に伴う、機能集約や中長期的な再編の方針は。

答 町長 再編方針は、現時点では具体的な検討に至っていないが、住民サービスの維持のため、住民ニーズの変化を捉えた対応策を考える必要がある。

分類	施設数 (30年未満)	施設数 (30年以上)	築30年以上割合 (延床面積)
行政関係施設	6	11	32%
学校教育施設	43	24	63%
社会教育施設	10	10	34%
社会体育施設	11	2	57%
保健福祉施設	16	4	12%
産業施設	48	6	9%
公営住宅	12	8	95%
廃止・その他施設	7	9	68%
合計	153	74	43%

築30年を超える施設が4割超
出典「伯耆町公共施設等総合管理計画(H27年策定)」

公共施設・インフラの縮小・廃止にあたっては、住民に最も身近な行政としての視点を持つて検討していく。

問 住民の生活の質をどう維持・向上させるか。

答 町長 施設の長寿命化を図るとともに、「まち未来ミーンティング」等で住民の声を聴き、ニーズを把握した政策を推進する。



すぎもと だいきすけ
杉本 大介 議員



ユーチューブ
動画は
こちらから

防犯カメラ設置の 積極的検討を

問 駅周辺や公共施設への防犯カメラ設置の判断基準と、集落単位での設置に対する補助への考えは。

答 町長 集落単位では問い合わせも受けており、地域の安全向上に重要と認識している。プライバシー保護のルール化を前提に、補助制度について検討していく。

問 保護者の安心や犯罪抑止のため、保存期間や閲覧権限などの運用ルールを作った上で、放課後児童クラブへの設置を検討してはどうか。

答 総務課長 高齢者向けには既に防犯カメラ設置の補助制度がある。

答 町長 児童クラブは子供が「家」のように過ごす空間。設置は犯罪抑止や性被害防止に有効な手段だが、プライバシー保護に配慮が必要。設置する場合は死角や事務室等、閉鎖的な空間に限定すべき。



監視ではなく、抑止効果による安心の仕組み

こども家庭庁の通知（令和6年1月）では、カメラの映像を保護者が共有することは目的外であり、第三者提供はならないとされている。

したがって、保護者の安心感や活動状況の共有を目的とした設置については、すべきではないと考えている。

※スマートシユリンク
人口減少社会において、地域の構造や公共サービスを改善し、「賢い縮小」を目指す考え方。

高校生サークルの 計画的な育成を

教育長

持続可能な地域づくりの
担い手として育成していきたい



そのやま 其山 議員
もりよし 守美 議員



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 コロナ禍で途絶えていた高校生サークルが復活し、地域に根差した活動を始めている。高校生サークル「ブルーム」の活動状況と今後の育成方針は。

答 教育長 「ブルーム」のメンバーは現在3名で、土日を中心に活動している。町内自営業の方を訪問し、仕事のやりがいや社会人としての心構えを聞き取ったり、地域イベントの企画や運営に関わったりしながら活動をしている。今後は、持続可能な地域づくりの担い手、地域リーダーの育成という視点で、主体性を尊重しながら育成していきたい。

問 高校生サークルや社会教育関係団体の育成に向け、社会教育主事など専門性のある人材の計画的養成は。

答 教育長 社会教育主事講習の受講を進め、社会教育主事など専門性のある職員を計画的に養成していきたい。

問 空き家の有効活用に向けた検討状況は

答 町長 人口減少を抑制し、移住・定住を進めていくためには、空き家を活用していくことが有効だと考える。空き家の有効活用や、移住・定住促進に向けた総合的な施策の検討状況は、

問 空き家バンク構築に向けた準備状況、移住定住コーディネーターの設置、県補助金等を活用した空き家修繕・家財道具処分費補助金の導入についての考えは。

問 学校の教育環境を維持・管理していくためには、ボランティア頼みではなく、計画的

学校教育施設の除草や除雪作業に公費を



空き家バンクのイメージ

答 町長 町民の声や意見としても伺っている。検討内容については、令和8年度当初予算の中で具体的に説明させていただきます。



二部小学校の校舎裏の様子

に予算を確保して進めていく必要があると考える。校舎・体育館裏、植栽、プール周辺などの学校教育施設の除草作業について、予算化できないか。

答 教育長 国の指針によると、除草作業は教師以外が積極的に参画すべき業務に位置づけられている。本町でも令和8年度当初予算の中で予算化を検討していきたい。

問 アプローチ、駐車スペースなどの学校教育施設の除草作業について予算化できないか。

答 教育長 除雪作業については、引き受け手がいない現実があり、引き続きボランティアや除雪担当課と連携を図っていきたい。

教育費の負担軽減を

教育長

学校給食費の負担軽減策を優先する

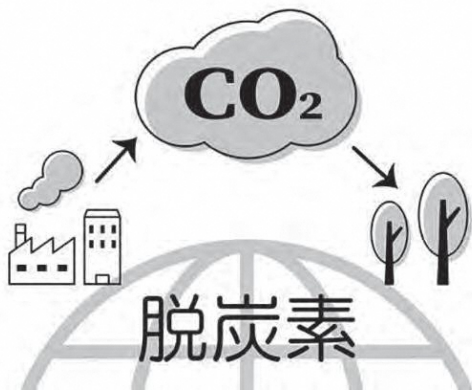
問 諸物価高騰の中、町民の暮らしが大変になっている。

生活支援対策として、小・中学校教育で必要とされる教材、消耗品費の保護者負担額の軽減措置を行いたい。2024年度の保護者負担額は、年間一人当たり、2〜3万円。

答 教育長 現在、小学校給食費の無償化の検討が行われている。この取り扱いの動向をみて、学用品などの取り扱いを検討したい。

気候危機対策を

問 豪雨、猛暑などの異常気象の悪影響の中、「国連・気候変動に関する政府間パネル」報告を受け、日本では、本年9月末時点で、46都道府県、22特



別区、1、120市町村の計1,188自治体が「2050年に二酸化炭素排出ゼロ（2050年カーボンゼロ）」表明を行っている。

本町も、二酸化炭素排出ゼロ表明を行い、気候危機打開のための施策を行うべき。



もりした かつひこ
森下 克彦 議員



ユーチューブ
動画は
こちらから

答 町長 地球温暖化対策実行計画を策定し、本町の事務

及び事業に関し、施策を講じている。今後の取り巻く環境変化技術進歩を見つつ、二酸化炭素排出ゼロ宣言の見込みが立つ状況になれば、宣言する時が来ると考える。

多文化共生社会の確立を

問 少子化の影響を受け、労働力を外国人に求めるなどにより、在日外国人が増加しており、一層の多文化共生社会の確立が必要である。参議院選挙では、「外国人は、生活保護等で優遇されている」などの主張がなされ、外国人に対する不当な言動や差別、排外主義の広がりが見られる。

排外主義の主張が広がる中、これを否定し、多文化共生社会の確立が必要と考えるが、自治体行政の長である町長の見解を問う。

答 町長 外国人の平等の権利、機会の均等、価値観の尊重。また、外国人との共生に向けて取り組んで行くことが非常に大切である。



クマ対策で 児童生徒等の安全対策は

教育長 クマ鈴をいち早く配布済



いぬい ゆたか 乾 裕 議員



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 学校など教育施設等における児童生徒等の安全対策は

答 教育長 学校における熊対策は、町内全小中学校に「クマ鈴」を配布。
通学カバンに付けるよう各家庭にお願いした。

問 ホイツスルやクマスプレーなどの携行は検討したか。

答 教育長 検討していない。

問 学校等にクマ撃退スプレーの配備は。

答 教育長 考えていない。

問 クマに遭遇した場合の対処方法の周知は。



答 産業課長 2023年10月から町のHP農林室からのお知らせの中で「クマの出没にご注意ください」と題して対処方法等を具体的に適時広報している。

問 クマの駆除に関するマニュアル作成は。

答 産業課長 ツキノワグマ等出沒対応マニュアルを現在県が策定中である。実施主体の各基礎自治体が状況に応じて加筆修正できる。遅くとも年度内には完成したい。

問 撃退スプレーを希望する集落や町民に配布してはどうか。

答 町長 そうした声や出没が頻繁に起こるようであれば検討したい。

問 クマの早期発見が肝要と考える。ドローンを活用し、暗視能力カメラや温度を感知する赤外線カメラ等を搭載して発見・監視する方法が有効と考えるが町長の認識は。

答 町長 そうしたことが必要かどうか今直ぐに必要という見解は今のところ持っていない。



投票立会人の交代制を 導入しないか

町長 検討を進め、早ければ

3月議会で示したい

問 町内では、投票立会人が長時間にわたり従事することから高齢の方を中心に負担が大きく、担い手の確保が難しくなっていると聞く。町の認識は。

答 町長 担い手不足は全国的な傾向であり、人口減少や高齢化が進む本町においても同様の課題である。選挙は民主主義の根幹であり、投票環境を守るうえで重要な問題だと認識している。

問 町内から、立会人確保の難しさや負担軽減を求める声は出ているのか。

答 選挙管理委員会事務局長 区長から「立会人を選出できない」「交代制を導入してほしい」といった要望があり、今年は2集落から正式な要望が寄せられている。

問 立会人の確保と負担軽減を両立するため、交代制導入を検討する考えはあるか。

答 選挙管理委員会事務局長 交代制は有効な方法と考えている。条例改正が必要となるため、選挙管理委員会で検討を進め、早ければ3月議会で示したい。



さこだ しんじ 議員
田 信二



ユーチューブ
動画は
こちらから

ちびっ子広場に屋根付 休憩所の整備を

問 総合スポーツ公園のちびっ子憩場所が少なく、利用者の安全面が心配される。町の認識は。

答 教育長 夏場は利用が少なく、日陰や休憩スペースが十分とは言えない。暑さ対策や安全確保の観点から、今後の課題であると認識している。

問 利用者の安全確保や公園の魅力向上のため、屋根付き休憩所の設置を検討できないか。

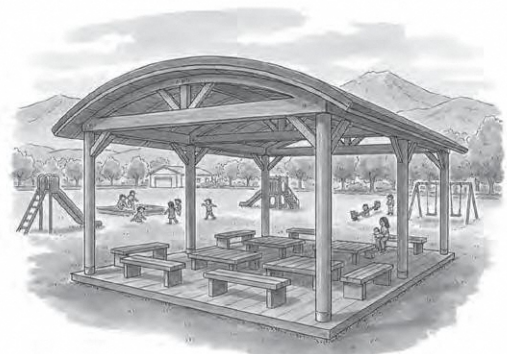
答 教育長 利用者のニーズを含めて、どの程度のものが必要なのか丁寧に検討して設置する方向で進めたいと思う。



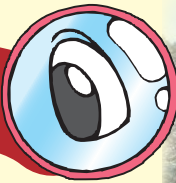
投票立会人交代制のイメージ



総合スポーツ公園のちびっ子広場



屋根付き休憩所のイメージ



矢田貝邸から繋ぐ、山の文化と地域の未来



矢田貝邸 管理者
須山 里実 さん
鳥取県木質インストラクター
林業従事者

歴史ある矢田貝邸を引き継がれた経緯や、当時の思いを教えてください。

私は林業を営むかたわら、里山の利用普及活動をしています。森林教育に適した山を探していた際、矢田貝家の山林管理を任せていただくことになったのが縁で、「矢田貝邸」に携わるようになった。

現当主から「昔のように多くの人に使ってもらえる場所になりたい」という切実な思いを伺い、私にできることはないかと模索を始めました。歴史ある建物を守ることは、この町の文化そのものを守ることだと強く感じています。

現在の具体的な活動内容と、運営で苦労されている点は何でしょうか？

現在は土曜日的一般無料開放やレンタルスペースとしての貸出、定期的なイベント開催に加え、里山を身近に感じてもらうための活動も展開しています。苦労しているのは、やはり膨大な維持管理コストです。庭の手

入れや建物修繕費、光熱費などの経費がかさみ、何とか維持しているのが現状です。



今後の矢田貝邸のあり方や、管理者としての抱負をお聞かせください。

矢田貝邸は、蔵に残る古文書や建築物から「近代の伯耆地方の歴史を紐解くことができる貴重な文化財」であり、今日まで多くの方に大切に守られてきた場所です。

有志で結成した「やたもりかい（矢田貝邸を守る会）」を通じて、多くの方の知恵を借りながら、地域に開かれた持続可能な運営体制を築きたいと考えています。また、林業に携わる者の視点から、「先人がいかに木

を使い、自然と共生してきたか」を次世代に伝える架け橋になりたいですね。

改めて、矢田貝邸の「いいだけ」は見てほしい」とうつつアピールポイントは？

何と言っても、「国登録有形文化財の建物」と、新たに指定を受けた「本格的な庭園」の調和です。特に3つある茶室は非常に凝った造りで、伝統的な茶道の仕掛けが庭全体に組み込まれています。また、窓からの景色は一枚の絵画のように見え、計算し尽くされた美しさがあります。敷居が高いと感じられるかもしれませんが、どなたでも気軽に立ち寄れる場所ですので、ぜひこの重厚な空間と里山の空気を感じに来てください。



表紙のみどころ



溝口公民館の講座「めでたい風の羽子板作り」は子どもから大人までが一緒にやって、無心に絵筆を動かす時間でした。自由な感性で作製した羽子板が完成したときは、達成感と驚くような感性に触れることができました。この講座は今年から伯耆町「健康・まちづくりポイント制度」の対象になりました。

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

【編集】

- 議会広報常任委員会
- 委員長 大床 桂介
 - 副委員長 塔田 信二
 - 委員 永井 欣也
 - 委員 長谷川 満
 - 委員 杉田 真也
 - 委員 其山 守美



この議会だよりは再生紙を使用して印刷されています。